

プロジェクト **ASAF 対応**
項目 **本日の審議**

本資料の目的

1. 本資料では、本日の委員会においてご議論いただく事項について説明することを目的としている。

ASAF 会議への対応

(2016年4月のASAF会議における議題)

2. 2016年7月7日、8日にロンドンで開催されるASAF会議における議題は次のとおり予定されている。

議 題	時間
概念フレームワーク	150分
負債	
資本の特徴を有する金融商品	
認識	
開示に関する取組み－重要性実務記述書	75分
基本財務諸表－範囲	60分
基本財務諸表－キャッシュ・フロー計算書	60分
2015年アジェンダ協議	120分
のれん及び減損に関する定量的な調査	90分
IAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の改訂	60分
IASBによるプロジェクトの近況報告とASAF会議の議題	15分

(本日の議題)

3. 本日は、次の議題に関するASAF会議における対応案（または、対応の決定にあたって基礎とするASBJ事務局による気付事項）についてご意見をいただきたい。
 - (1) IAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の改訂（審議事項(2)-2参照）
 - (2) 基本財務諸表－キャッシュ・フロー計算書（審議事項(2)-3参照）
4. また、「のれん及び減損に関する定量的な調査」については、ASAF会議において報告する予定の資料の概要をご説明する（審議事項(2)-4参照）。

審議事項(2)-1

5. 「2015年アジェンダ協議」については、5月31日開催の委員会においてご意見をいただいた。本日は、委員会でいただいたご意見を踏まえて更新した資料を参考資料として配布している（審議事項(2)-1参考資料1参照）。
6. 「基本財務諸表一範囲」については、5月31日開催の委員会においてご意見をいただいた。本日は、委員会でいただいたご意見を踏まえて更新した資料を参考資料として配布している（審議事項(2)-1参考資料2参照）。
7. 次の議題については、次回の委員会（6月29日に開催予定）において、アジェンダ・ペーパーの内容等を踏まえ、必要に応じてご審議いただくことを予定している。
 - (1) 概念フレームワークー負債
 - (2) 資本の特徴を有する金融商品
 - (3) 概念フレームワークー認識
8. なお、開示に関する取組みー重要性実務記述書については、これまでにいただいたご意見を踏まえ、適宜対応することを予定しており、委員会において議論を行うことは予定していない。

ディスカッション・ポイント

2016年7月開催のASAF会議への対応について、ご質問やご意見があればいただきたい。

以上